

# 特集「書店員が最も惚れた小説」2013

書店員アンケート

6 ①2013年、私が選ぶ「この一冊」

34 ②2014年、私が注目している「この作家」



インタビュー  
似鳥 鶏

オリジナルティのある  
明るく笑える物語を



27  
インタビュー  
沢村 鉄

警察小説に挑戦することで

“化学反応”が起こった



58

好評連載小説

あさのあつこ

とうせいきやんむすめものがたり  
当世侠娘物語 ガールズ・ストーリー◎決意篇②

血の臭いを纏った男が富浦長屋にやって来た。男の話を聞いたおいちばは……。

85 WEB文蔵

354 筆者紹介

360 文蔵バックナンバー紹介

363 文蔵年間購読のご案内

## 302 火坂雅志

大いなる敵 その二 鬼神の如く ⑤  
 明国の使者を迎えた秀吉。終始にこやかであったが、三成の表情は強張っていた。

## 258 池永 陽

奇妙なくぼみ 向こうがわの蜂 ④  
 重すぎる琥珀を見つけたものの、どつすることもできない薫たちだったが……。

## 310 川上健一

ライバル(終)  
 「ありがと。葉奈おばさん」イップスを克服した宇希恵は感謝の気持ちを伝えた。

## 238 原田マハ

落涙 異邦人 ⑩  
 葉糖は自分名義の美術品を、美術界の巨人・立野政志に売却することにした。

## 196 山本 弘

太陽の怒り プロジェクトびあの⑬  
 秋葉原でのオフの日、太陽の黒点の写真を見せられたびあのの表情が蒼ざめた。

## 170 柴田よしき

第二章 味方か敵か(2) わらし花子と涼菜の憂鬱 ⑧  
 涼菜は花子に対して、自分が会社でリストラ対象になった理由を話し始める。

## 124 江上 剛

3・11 翼、ふたたび ⑦  
 丸ビル四階のカフェでジャーナリストの土橋との面談中、猛烈な揺れに襲われた。

## 278 中村彰彦

笛子峠 その二 疾風に折れぬ花あり ④  
 織田信忠の再三の懐柔にも応じず、仁科五郎盛信は最後の戦いへの火蓋を切った。

## 86 近藤史恵

汚れた写真 昨日の海は ⑥  
 新学期が始まったある日、芹と光介は天井裏から古いダンボール箱を見つけた。

## 連載小説

## 186 東 直子

補色 いつか来た町 ⑦  
 亡くなった友人も、あの日見た花嫁も、私の記憶の中で、ずっと生き続ける。

## 332 朱川湊人

クリスマスマスの呪い 箱庭旅団 Season 3 ⑤  
 クリスマス嫌いで悩んでいる一ツ年上の女友たちは、僕の提案を蹴り飛ばした。

## 連作読切小説